

令和5年度 こども発達支援センターぴーち 放課後等デイサービス 事業所内評価結果

		実施期間 令和5年11月～令和5年12月				
		改善目標・工夫している点など				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	
環境 / 体制 整備	① 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	100%	0%	0%	0%	施設としての設置基準と照らすと倍以上の広さは確保できているため、宿題をする時間や活動を行う時間など状況や場面に応じて、使用スペースを変えながら、利用メンバーにあったスペースを用意していきけるよう意識して対応していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	0%	言語聴覚士や作業療法士、保育士など様々な職種を交えて集団療育を行える体制をとっており、国の配置基準も十分に満たしている。長期休みや送迎箇所、他事業との兼ね合いもあるので、職員の休みのとりかたなども含めて今後も職員配置に気を配っていく。
	③ 施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	100%	0%	0%	0%	本館はバリアフリーに対応している。分室は、社会に多く出回っているタイプの作りになっており、社会に出る準備としての生活機能動作向上を意識した活用の仕方になっている。今後も環境整備や安全面を確保しながら、個々の発達段階や課題に合わせた生活動作や機能訓練などを行えるようにしていく。
業務 改善	④ 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	100%	0%	0%	0%	職員全員が情報を共有していけるよう、モニタリング・支援検討会議以外でも、定期的に話し合いの機会を作ったり、朝のミーティング時に他の職員へ共有を図ったりしている。また、不定期なパート職員の方にもミーティングノートを活用し、情報共有を行っている。
	⑤ アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	日々のやり取りや個別の電話やLINEなどからその都度意向を聞き、びーちの中で取り入れられるか話し合いをしたのちに、業務の改善を行っている。また、施設として話しあった内容を保護者にも報告し、共有することも意識して行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	100%	0%	0%	0%	3月に法人のホームページにて公開予定である。また、今までと変更があった箇所はその都度、掲示やラインなどで保護者に伝えている。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	93%	7%	0%	0%	関係機関の方々の見学や実習を積極的に受け入れ、施設の評価や改善につなげている。民生委員の視察などでも直接意見をいただき、地域の中でのニーズ確認や施設としての向上を図っている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	0%	外部研修や施設内研修に参加した職員から伝達研修を行い、全体へ情報を共有することで、様々な分野の知識を得ることができるような機会を作っている。また、毎月の職員会議や法人内勉強会でも定期的に幅広く児童福祉や療育について学ぶ機会を取り入れている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	100%	9%	0%	0%	利用を始める時や計画の見直しをする時に、保護者からの相談や利用児の発達課題などを丁寧に確認し、計画の中に組み込んでいる。また、相談支援や小学校・他事業所とも連携を図り、計画の共有なども行っている。
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	0%	季節のイベントや行事、風物詩を取り入れていけるようチームで話し合い、プログラムに組み込んでいる。療育はもちろん、普段の生活ではできないことを楽しんで体験できるように設定している。
	⑪ 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	100%	0%	0%	0%	常に職員だけが考えるのではなく、子どもたちがやりたい活動を開き、それらをびーちでも取り入れていけるように工夫している。また、子どもたちの発達段階によって難しい活動を取り入れる際は、グループに分かれて行ったり、その都度内容を変えたりと環境を設定できるように検討している。
	⑫ 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	100%	0%	0%	0%	長期休暇の際は、平日ではできないことを活動として取り入れている。また、イベントや行事を設定することで、マンネリ化することなく、楽しくびーちを利用できるよう工夫している。
	⑬ 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	91%	9%	0%	0%	朝のミーティングの時に、全職員に対して利用メンバーの確認や注意点を確認することができる。また、療育を開始する前に、個別に配慮が必要な子の対応や配置する職員なども決めて行っている。
	⑭ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなっているか	100%	0%	0%	0%	振り返りの時に、先に放デイの職員内で情報の確認を行い、その後上司への報告や朝のミーティングで全体に周知している。また、不在の職員に対しては申し送りノートを活用して伝えている。
	⑮ 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	支援計画に基づいた記録を意識しつつ、それ以外でもその日の様子やそれに対する支援のフィードバックなどを記入し、記録を振り返った際に、どうだったかを確認できるようにしている。
	⑯ 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	87%	13%	9%	0%	地域の公園やリゾ狩りなどに行き、様々な地域の方々と触れ合う機会を取り入れることができた。新型コロナウイルスの社会状況も今年度は大きく変化したので、来年度以降は法人内の他施設との交流なども再開し、より多くの経験を積めるように環境を整えていく。
	⑰ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立っているか	100%	0%	0%	0%	職員間で時期を把握し、定期的に行うことができる。また、モニタリング以外でも、日々の生活の中で相談が出る度に支援の見直しや利用の仕方を確認しあうことが出来ている。
	⑱ ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	100%	0%	0%	0%	ガイドラインを念頭に置き、法人内の方向性を確認している。また、施設として求められているものも定期的に確認し、日々向上できるように施設内の意識付けを図っている。今年度から県の事業を受託し、地域の中で発信する役割となったので、そこも意識し活動を行うことが出来た。
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲ サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	91%	9%	0%	0%	担当者会議がある際は、毎回参加している。保護者、相談支援員、他施設の職員と情報の共有と統一化を図り、支援の中に組み込んでいる。また、必要であれば、その都度電話連絡をし、情報の共有を図っている。
	⑳ 学校との情報共有や連絡調整などは、随時行っているか	100%	0%	0%	0%	日々の学校への送迎の際に、その日の様子やメンタル面などの確認を行っている。また、必要に応じて個別に電話でのやり取りを行い、情報の共有を図っている。教育委員会の就学支援会議でも発達課題や支援の方向性を確認することが出来ている。
	㉑ 就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	93%	7%	0%	0%	ほびびーちの児童発達支援から継続しての利用であるため、そこでの情報の共有などはしっかりと行っている。他施設をメインに使っていたお子さんに対しては、相談支援員を中心に情報の共有を心がけている。
	㉒ 障害福祉サービス事業所などへ移行していくときは、支援内容や情報共有を心掛けているか	100%	0%	0%	0%	学校や就労施設、相談支援事業といった各関係機関と連携や情報共有を行い、計画が終了しても途切れることのない支援を行えるよう心がけていく。また、放デイ卒業後しばらくは、定期的な連絡をとり、支援が安定するまで協力している。
	㉓ 専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	0%	今年度も様々な研修に参加し、それを施設内で伝達研修を行っている。また、今年度より県からの委託を受け、外部に向けた研修もびーちで行えるように準備を整えているところである。
	㉔ 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	100%	0%	0%	0%	地域の自立支援協議会だけでなく、県のマネージャーとして他の地域の協議会にも参加し、県全体に意見発信をしている。今後も県や市との連携を深め、県全体のポトムアップを図っていく。
	㉕ 日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか	100%	0%	0%	0%	送迎時の振り返りやLINEなどで保護者と話しをする機会を常に作っている。また、進学や家庭内の相談も必要とあれば、個別に時間を作り、家庭支援を意図して働きかけている。
	㉖ 保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	93%	7%	0%	0%	掲示板や個別案内でペアレントトレーニングやペアレントプログラムなどの開催を周知している。今年度は県からの委託を受け、他事業所での勉強会も開催した。今後も圏域でペアレントトレーニングやプログラムが定着していくように継続して働きかけていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗ 運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	0%	契約した時と契約を変更した時に、その都度利用料金や支援についての説明を行っている。また、契約した職員以外にも全職員が同じ内容を理解し、説明できるように確認をとっている。
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	振り返り時はもちろん、個別に電話やLINEなどで悩みや相談があった際もチームで話し合い、適切に対応できるように心がけている。相談内容によっては、担当職員以外のもが臨機応変に応じることで、幅広い相談内容に対応できるように意識している。
	㉙ 保護者同士の連携を意図的に用意できているか	87%	13%	0%	0%	勉強会の開催をその都度掲示板に提示しているが、放デイの保護者は仕事をしている方も多いため、参加率が低いのが現状である。放デイの保護者も参加しやすいスタイルでの座談会や食事会などを検討し、今後は取り入れていく。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	100%	0%	0%	0%	こどもの声や保護者からの話をしっかりと聞き、苦情につながらないように、その場その場の対応を心がけている。提案や相談があった際には、迅速に職員間で情報を共有し、再発防止に努めたり、いただいた内容に関して今後どう対応していくのかなどもあわせて保護者に報告している。
	㉛ 施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	100%	0%	0%	0%	びーちだけでなく、LINEなどで情報発信をしている。また、行事によっては個別に持ってきてほしい物や確認事項などを伝え、見通しをもって安心して参加できる環境を作っている。
	㉜ 個人情報に十分配慮できているか	100%	0%	0%	0%	契約時や年度ごとにプライバシー承諾書の記入と提出をお願いしている。また、リストにピックアップすることで全職員が把握しやすいようにしている。
	㉝ 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	0%	各マニュアルは年ごとに見直しを行っている。また、緊急時対応や防災については年度始めに周知を図っている。マニュアルの内容・変更については、必要に応じて保護者にも配布や公式LINEという形でお知らせしている。
非 常 時 等 の 対 応	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	100%	0%	0%	0%	活動の中で月に1回、地震や火事などを想定した避難訓練を行っている。また、びーちだけでなく様子も掲載することで、保護者への周知も図っている。
	㉟ 虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100%	0%	0%	0%	年に1回の虐待防止の研修を行い、その都度内容の見直しや理解に繋げていけるよう、学ぶ機会を設けている。また、アンガーマネジメントやメンタルヘルスなどの研修にも参加し、職員の気持ちを整理できる方法を学ぶ機会も設けている。今年度より、療育室内に防犯カメラも設置し、性犯罪などの抑止も心がけている。
	㊱ 食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	100%	0%	0%	0%	契約時にアレルギーの確認を行っている。アレルギーの対応が必要な際は医師からのアレルギー対応指示書の提出をお願いしている。また、体調によって反応が出やすいこともあるので、保護者と確認をとり、安全に飲食できるように心がけている。
	㊲ ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	100%	0%	0%	0%	ヒヤリハットになってしまった場合は、ヒヤリハットノートに記入し、ミーティングでの共有や改善を図っている。また事前の環境設定や適切な関わり方が大切なので、そこへの研修は意識して行っている。

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。